

和良の郷だより

春風号

和良おこし協議会発行



地域づくりを考える講演会

2月5日(日曜日)、熊本大学名誉教授の徳野貞雄氏による講演会がわらおこしで開催されました。



(刺激的な講演に耳を傾ける参加者達)

在の日本の人口は約1億2000万人。イギリスの人口は6700万人、フランスは6500万人と日本の約半数である。人口大国と呼ばれる中国やインドは上位1位、2位で一桁上がって約14億だが、3位のアメリカは約3億となっている。その中で日本の順位は11位である。GDP

政府や行政、マスコミが叫ぶ日本の「人口減少や少子高齢化社会が厳しい」とは本当なのか？

その問いかけから徳野貞雄氏の講演会は始まりました。50年前から日本の人口は減少している。現

も1位アメリカ、2位中国に次いで日本は3位である。「そんな日本が無くなりますか？」

徳野先生の指導のもと和良町で行った「T型集落点検」によって、集落の現状を把握し、世帯だ

けでなく転出した家族や親戚は、ふるさとと繋がっている。年に何度か、多い人は親の面倒を見るために毎週のようにふるさとにきている。それだけなく、農作業やお祭りに参加するために帰ってくる。距離や現在の生活があるために帰ってこれない人もあるが、それでもふるさとに関わりたい気持ちは皆が持っている。「家族は空間を超えて繋がっている」のだ。

徳之島の伊仙町では近年都会暮らしに見切りをつけた20代後半から30代の夫婦が田舎を目指すケースが多い。一旦は都会に出るが、子育てのためにUターンする。そこには特別な産業があるわけでもなく、年間所得も決して高くない。しかし、人の繋がりが濃いようだ。子どもや高齢者が歩いてみると、地域の人がちが見守ってくれている。そんな暮らしやすさ、住みやすさがあるようだ。地域が成熟していると思われると移住者もそこを目指してくる。

和良町と和良おこし協議会の活動を徳野先生には約10年にわたりの指導いただいたり、見守っていただいています。協議会は「みんなで楽しく集

落づくり」というスローガンのもと、暮らしやすく、いつまでも住み続けられる地域を目指して活動を行っています。今回は5年ぶりに「徳野節」を和良で聞くことができ、ふたたび活動への力をもらうことが出来ました。

徳野先生は二度の大病を克服され歳も重ねられたのですが「徳野節」はまだ健在で、喝をいただく場面もありました。そして、またお会いすることと次回のテーマも決まりました。講演会の中で少し触れていた、SBP「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」です。



(講演の合間には笑顔もみられた)

2月1日(水曜日)に和良川の渓流釣りが解禁となり、早朝から多くの方が和良川にお越しいただきました。この日は気温も水温も低い一日となりましたが、解禁を楽しんでいたただけでしょうか。

昨年の11月には、和良川支流の鹿倉川、土京川にあまご稚魚が放流され、解禁日当日から3月5日(日曜日)までの毎週日曜日には成魚放流を行います。放流量は各日70kg(合計420kg)で、放流場所は和良川漁業協同組合付近になります。ただし、現在河川工事のため放流場所に変更がある場合があります。

また、本年より和良川では「FISH PASS」もご利用いただけるようになりましたので、ご利用ください。

渓流釣り解禁



(あまごを釣りあげ、笑顔の名人)

空き家改修 ワークショップ

2月11日(土曜日)、春に開業を目指す「ポポハウス」を現場に漆喰塗り体験を行いました。この日の講師にはこれまでに技能検定で1位、技術を競う某テレビ局の番組で優勝するなどした職人さんを育ててこられた小池左官さんをお迎えしての開催となりました。DIYの参考にしてください。と、今回は石膏ボードの壁に漆喰を施工する際に必要なパテうちや下地処理の体験もしていただきました。

参加者のなかには遠くから来られた方もいました。みなさん最初は戸惑いながらも、少しずつ慣れてくるとおしゃべりもはじまり楽しく進めていきます。どんどこツをつかんでいくとスピードもアップして、この日の範囲はだいたい終えることが出来ました。



(講師のレクチャーを受けて、漆喰塗りに挑戦!)

繋げていきたい人と想い

下呂市金山町と郡上市和良町は隣接しており、昔から交流も繋がりがもともとありました。祖師野地区は、以前は郡上郡東村として文化や歴史も共有するものもあります。現在、和良から金山へは仕事や買い物に行ったり、JR飛騨金山駅を利用するなど、日常的な繋がりを持つ人は多いです。

2月15日(水曜日)、そんな金山町の金山振興事務所から池戸所長さんを含め3名の方が和良おこし協議会を訪ねていただきました。来訪は池戸所長と和良振興事務所の岩尾所長とお話がきっかけとなりました。近圏内の繋がりを深めて意識の共有や、何か出来ることはないかなどと共通の想いがそこにはあります。具体的なお話も多く語っていただき、こちらの想いも話をさせていただき、今後はその想いを力タチに行けるのではないかと、大きく期待できるものになりました。

以前より、和良町は下呂市の進めるインバウンドに向けた広域周遊ルート作成に参加させていただくなどしておりましたが、今後はさらにもっと繋がりを強めていけるのではないかと感じることが出来ました。



(懇談の様子)

地域おこし協力隊 募集中

現地域おこし協力隊の任期満了に伴い、4月から和良町で活動する地域おこし協力隊を募集しています。(3月3日に一旦募集を締め切ります。)

清流「和良川」で「和良鮎」、「オオサンショウウオ」、「和良蜚」などの地域の宝を最大限に活用したツーリズム、また和良川の水が育む「お米」などの農作物を起点に、関係団体や地域住民と協力して、魅力ある地域づくりを進めていただきます。具体的な活動内容は次の通りです。

①清流和良川が育む豊かな農林水産資源を活かし、道の駅和良を活用した地域産業の活性化を推進。

②和良川に生息する和良鮎、オオサンショウウオ、蜚などの未来に残していくための保護活動や魅力の発信、体験ツアーなどを開催。

③和良振興事務所、和良地域協議会、和良おこし協議会などと連携し、和良の地域づくりを推進。



イベント掲示板

https://guin.jp/
2023.4.15(Sat) 19:00 Start
MusicCharge 抜打義、Drink 持ち込み可
わらおこし・岐阜県郡上市和良町下洞554
むらなが吟
Guin Muranaga Live
【むらなが吟 プロフィール】
1957年 現在の下呂市に生まれる。子守唄は昭和6年生まれの時分が懐くギターだった。40歳にして音楽。エアロスミス等を手掛けるエンジニアと世界トップクラスのミュージシャンにその魅力を感じられ、レコーディング、映画音楽アルバム発売。
2017年 運命の誕生日より「60歳 歩いて日本一周歌い唄」を約1年半・旅費約4万円で、全県制覇のライブツアーに挑戦完了。全国を自らの足で歩いたその経験からトークには折り知れない説得力を持つ。
ライブではビールを片手にステージを闊歩。1杯目も10杯目も美味い!
和良おこし協議会：0575_77_2272

市民協働センター相談日

とき:3月27日(月)
10時~15時
ところ:わらおこし(下洞554)
相談員:大中センター長

和良町の人口

令和5年2月1日現在 (カッコ内は前月比)

